

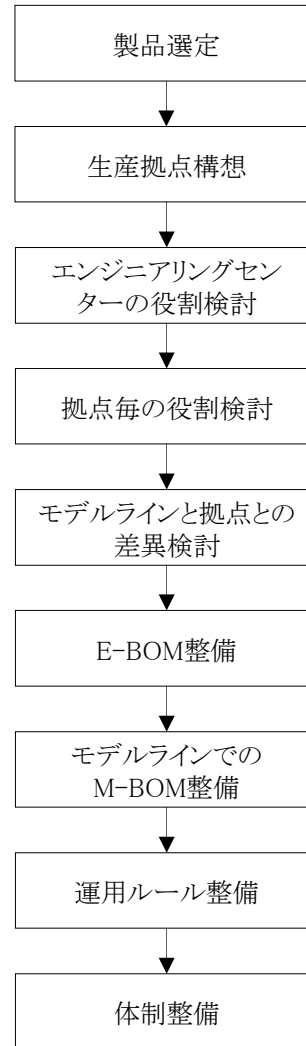
6.8 エンジニアリングセンター機能と部品表管理

多くの生産拠点を抱えた企業の場合、エンジニアリングセンターに部品表管理機能を持たせ全体の生産拠点のマネージメントを行うと良いでしょう。

多くの生産拠点をもち、多くの拠点で同じ製品を生産する場合、設計部品表は同じでも生産部品表は拠点毎に異なる場合があります。工場毎の生産プロセス、管理ポイント、部品調達先、リードタイム等々マスター情報も含めて拠点毎に整備する必要があります。したがってエンジニアリングセンターでは、モデルラインで手本となる作り方を構想し、標準的な生産部品表を作成し、それを基に拠点毎に調整をして完成出来るように、固定部・変動部を明確化し、拠点へ配信することになります。このことは各拠点の持つべき機能をマネージメントすることといえるのです。

このようにエンジニアリングセンターでの役割と生産拠点毎の役割を明確化し、その運営の組織体制を整備しておくことで迅速な生産立上げや共通化の企画・推進、全社と拠点毎の生産の強みの管理等が可能になります。これらの検討を通してセンターの企画を行うと良いでしょう。

展開ステップ



多くの生産拠点を抱えた企業での開発センターの役割

